

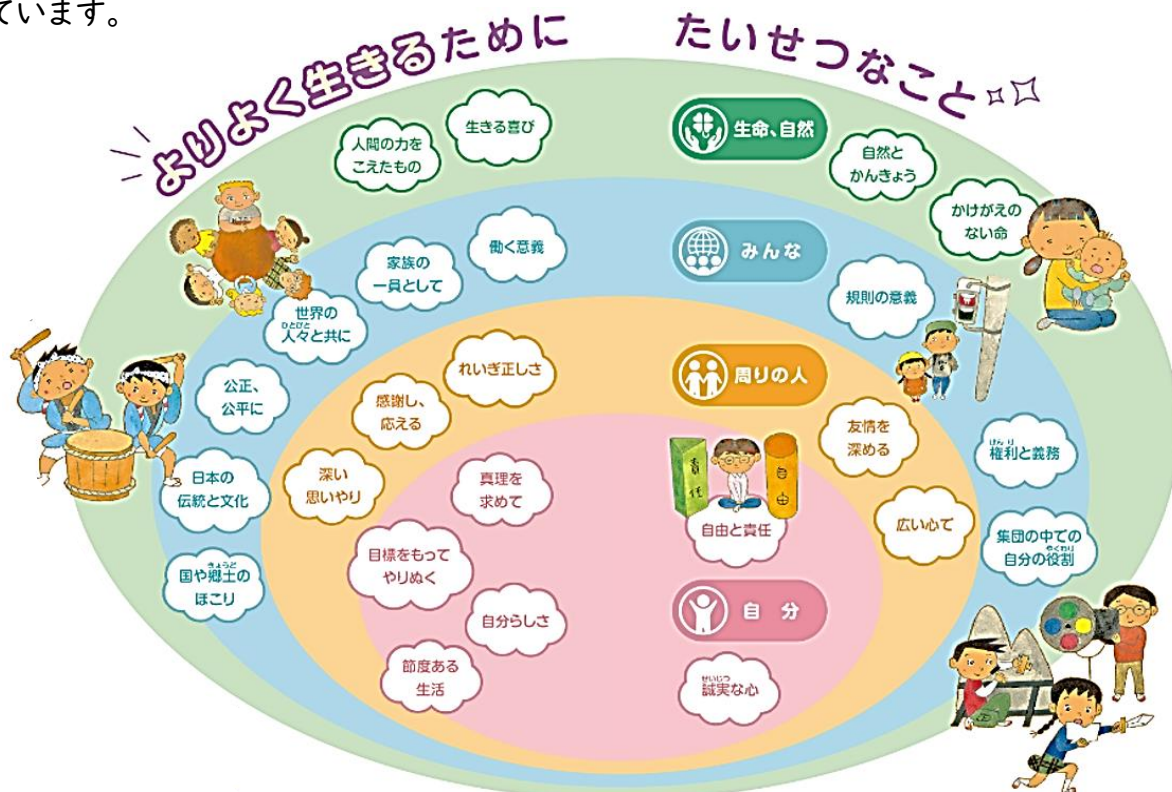
# ♡♡♡ 道徳通信 ♡♡♡

令和6年 9月2日発行

本校の教育活動にご協力くださり、ありがとうございます。

本校の本年度の教育目標は「ふるさとや自他を愛し、主体的に考えて行動し、たくましく生きる児童の育成」です。その教育目標に関わって、本年度は「友情・信頼・思いやり・相互理解」の項目を重点に、学校の教育活動の全てを通して道徳教育に取り組んでいます。

また、毎週1時間行われる道徳の時間では、学校生活の中では学べないことを補ったり、子どもたちが日々の生活の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めたり、発展させたりしていきます。道徳の内容には、全学年4つの視点(自分自身・人との関わり・集団や社会との関わり・生命や自然、崇高なものとの関わり)があり、これらの内容を1年間でバランスよく学習するように計画されています。



道徳教育の効果を高めるためには、家庭や地域との連携を図ることが大切だと言われています。この道徳通信を通して、ご家庭でも保護者の方々と児童が一緒に考えたり話し合ったりしながら、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

1学期には、親子の手紙にも取り組んでいただき、ありがとうございました。日頃、なかなか言葉で伝えることができない家族のそれぞれの思いを「短い手紙」にすることで、お互いの気持ちを理解し合うよい機会になったと思います。お忙しい中、心の通い合う手紙を書いていただき、ありがとうございました。





# こんなお話が心にのこったよ

『1学期の学習の中で、心に残ったお話をおうちの人に話そう』というページで、「サインでも OK です」とお伝えしたにも関わらず、コメントを書きくださった保護者の皆様が多かったです。ありがとうございました。子どもたちと話していただいた内容を一部紹介します。

## 1年生

児童:おはようっていったら、「ぼんじいあ」ってこたえてくれてうれしいからです。

保護者:あいさつの大切さに気付いてくれてよかったです。

## 2年生

児童:虫にもいのちがあって、大切にそだてているから、ころしたらだめだなと思ったからです。

保護者:「動物も虫も大切な命」ということに気づいてくれてうれしいです。

児童:うそをつくのはだめだと思いました。どうしてかという、前に、「オオカミが来たぞ」とうそをつくお話も聞いたことがあるからです。これからもうそをつかないで、へいわにくらしていこうと思いました。

保護者:ウソをつくことはダメではないこともあります。これから、いろんなうそをよく考えてつかって行ってね。いいウソもあるということです。

## 3年生

児童:えんそくでなくしたものをみんなでさがしていてすごいなと思いました。わたしも、ものをなくしている人がいたら、いっしょにさがしたいです。

保護者:ママもやさしいあなたが大好きです。

児童:オルタはちゃんと「ぼく」って人の話や心のことをきいていたからです。これからは、ゆう気を出して何でもとりくんでいきたいと思いました。

保護者:いろんなことにチャレンジして行って、様々な心にふれてほしいです。

## 4年生

児童:ゆみが万引きした時に、さち子が「だめだよ、やめたほうがいいよ」といったのがすてきだと思ったから心に残りました。さち子がいてよかったなと思いました。

保護者:さち子のようにいけない事は“ダメだよ!”と言えればいいよね。いろんなダメなことってあるけれど、お友だちのことを想って言える勇気はすばらしいことです。

## 5年生

児童:7ページの「いつまでも落ち込まない」が好きです。自分はすぐメンタルがくずれて落ち込んでしまうけど、このお話を勉強してあまり落ち込まなくなりました。

保護者:うまいかなかった時、落ち込むことは誰にでもあるよ。そんな時は、気持ちをどうやって切り替えるかが大切。大人になっても嫌なことは必ずあるよ。そんな時、のび太のようにたくさん泣いたり笑ったりして、がまんしないようにするといいね。

児童:町を美しくするためにも、そうじが必要だと思いました。自分も協力してみたいです。

保護者:街がゴミだらけだと、心が痛む気持ちが分かるよ。ほったらかしにしないで、自分たちできれいにしようと思い行動に移せた子どもたちの気持ちがとても美しく、大人も見習う必要があるなと思いました。